

宇部市立中学校の新たなスポーツ・文化活動体制整備協議会 概要

1 日 時 令和6年1月22日(月) 14:00~16:00

2 場 所 宇部市本庁舎5階 第1委員会室

3 概 要

副会長(司会)

部活動地域移行はとても大きな改革。宇部市はこのような会議が進んでおり、地域クラブを作りたい、指導をしたいという人も多く、本協議会で作成した手引きをもとに、学校との協議を進めているという話も聞いている。宇部市はいいスタートが切れていると実感している。

○地域クラブ指導者人材バンクについて

事務局

最も課題となっているのが指導者の確保。宇部市独自の人材バンクを作ろうとしたが、山口県が県全域を対象にした人材バンクを設置するため、それを活用する。この人材バンクは、指導者、クラブ・運営者が登録を行う。仕組みは、宇部市在住の人が県のポータルサイトから仮登録すると、県から宇部市に通知が来る。宇部市は、必要に応じて面接等を行い、登録の許可をする(ID・パスワード発行)。その後、本人から本登録の申請が行われた場合、再度宇部市に通知され、必要に応じて面接等を行う。本登録するための条件として、山口県の準備する研修動画の視聴が義務付けられている。指導者として果たすべき役割や責任等について、20分程度の動画を観る必要がある。登録された指導者の情報は一般の人は見ることが出来ず、市町の担当者、あるいはクラブの責任者のみが閲覧できるようになる。県は、地域クラブと指導者をマッチングし、マッチングが成功した場合のみ、指導者名を一般閲覧できる。ポータルサイトになっているので、すでに設立している地域クラブ、今から設立する地域クラブなどの団体の登録ができるようになる。団体の登録内容に関しては、一般閲覧が可能である。2月末から運用開始予定。

会員1

ポータルサイトはどこが運営するのか。

事務局

県のスポーツ推進課が行う。

○地域移行の進捗状況の周知について

事務局

進捗状況についてはHPに載せているが、もっと細かなことや、これからの展望について学校や児童生徒、市民の方々に伝える必要があり、現段階で進めている内容を別紙「地域クラブ通信」に掲載し、周知を図ろうと考えている。

会員2

地域クラブに移行する学校部活動の保護者に説明ができていない場合は、学校名を載せない方がいい。また、保護者だけでなく来年その中学校に進学する小学校の児童に対して説明した後の方がいいのではないかな。

会員1

自分の学校では、2月9日の入学説明会で地域クラブ移行について話す予定。

事務局

児童への説明まで待っていると、なかなか情報が出せないのが現状だ。

会員 2

情報を出した時の市民からの問い合わせは教育委員会なのか。

事務局

教育委員会が担当する。

会員 3

保護者の立場であれば、どのタイミングで知らされても多少は混乱すると思う。ただ、情報を出さないとさらに混乱する。だから、通信に載せて何か問い合わせがあれば教育委員会が説明するようにするとよい。

会員 1

中体連への大会参加登録が2月中旬にあるので、保護者も部活動で登録するのか、地域クラブで登録するのか迷っている人もいると思う。ある程度情報を出した方がよい。

事務局

それでは、保護者へ説明等があった地域クラブについては情報を載せることにする。地域移行が進むと、部活動は減っていくといった流れも示せたらと思う。チラシの配布先は学校だけで良いか。

副会長（司会）

ふれあいセンターなどにも数枚置いておくのがよい。

○宇部市地域クラブ運営協議会について

事務局

宇部市地域クラブ運営協議会(案)の新設を考えている。目的としては、宇部市立中学校の生徒にとってふさわしいスポーツ・文化活動の円滑な運営と発展のためである。実際に運営を始めると、多くの案件が発生する。運営協議会で取りまとめて、体制協議会に上げていき、解決案を出していけるようにしたいと思っている。

会員 4

運営協議会の委員に弁護士を入れたらどうか。何かあった時に法律に詳しい人がいたほうが良い。

事務局

今後、検討したい。

副会長（司会）

私立中学校の生徒は地域クラブに入部できるのか。

事務局

入部に関しては全く問題ない。

副会長（司会）

宇部市の中学生すべてが所属できるということでよいか。

事務局

そうなる。宇部市以外の市からでも宇部市の地域クラブに入団することができる。

副会長（司会）

それでは、宇部市地域クラブ運営協議会については、設置を進めていくことにする。

○地域クラブへの移行状況について

事務局

昨年末から、各校長と話し合いをしている状況である。桃山中学校の野球部が保護者会で地域移行について話し合いをして、同意を得ている。他の中学校からも複数校相談を受けている。各中学校の部活動顧問の先生方にも説明をしたところである。地域クラブへの移行が進んでいくと、多くの保護者に伝わった時には、もっと色々な問い合わせがあると思う。支援については、金額はまだはっきりとは出せないが、指導者に関わる活動補助・運営補助については、色々費用がかさむことを懸念されている部分があるので、中学校と連携し、学校設備の使用を整備していくなど、クラブ設立・運営を支援したい。活動していく上で、現在、学校から配当されている予算を生徒から徴収するか、今まで通り学校から配当することになる。活動にかかる費用やクラブを作る部分での費用については、補助の必要があると考えているが、中学校の施設・備品を可能な限り使えるように学校との良好な関係づくりが必要だ。指導者の資格取得の費用や登録費などについても考えていきたい。なるべく指導したいと考えている多くの方々が指導できるように整備をしていく。

副会長（司会）

Goppo ええぞなクラブの状況を説明してください。

会員 5

来年度から地域クラブを実施予定。地域クラブに移行する東岐波中学校の卓球と剣道は月謝が必要になるが、他の部活動に所属する生徒は月謝が必要ないということから、生徒や保護者はそのことをどのように思うか気になる。本当はすべての部活動を一気に移行したいと思っている。

会員 1

桃山中学校では、野球部は今の顧問が中心となって地域クラブ設立を目指している。教員一人では出来ないの、教員以外の指導者、保護者、事務局、代表者などでの組織体制を作っているところである。どのように持続可能な体制にしていくのかを考えないといけない。一定期間は学校の備品を使える等、書面を交わしたらよいのではないかと考えている。

副会長（司会）

指導者の報酬について事務局はどのように考えているか。

事務局

他県の計算式によると 1,600 円程度。地域の実情によるところもあるが、金額をどうするかはまだ決まっていないが、1,000 円～1,600 円の中で決めたいと思っている。

会員 6

指導者には報酬が払える制度ができているということか。

会員 1

色々な費用がかかるので、桃山中は月会費を集めるが、市からの補助額によって月会費を考えていく。現在は保護者の了承を得て、部費として 1,000 円を徴収している。

副会長（司会）

運営の方の報酬については、どのようになるのか。

事務局

運営団体が行う色々な調整などについても報酬が出る。体制的にどこまでできるかわからない部分もあるので、運営協議会が設立したらそこが報酬を管理する予定だ。

副会長（司会）

一月いくらなどで渡すのか。それとも時給換算か。

事務局

時給換算ではない。クラブの人数などによっても変わると思う。活動計画などの年一回の提出、学校との予定合わせなどが必要かなと思う。

○各関連団体より

会員 6

バスケットボールは、3，4団体について、地域移行の動きがある。

会員 7

文化振興課としては、吹奏楽、茶道、華道、美術などについては、それぞれの部活動に応じて枠を作っていく必要があると思っている。「地域にある各教室に通う」、「各中学校を拠点にそこに講師を派遣する」、「市が推進している地域活動に参加する」この3つの方法があるのではないかと考えている。

会員 3

P T Aでは、中学校に進学する小学生の保護者からの質問が多いが、手元に回答できるほどの資料がないので、進捗状況を話せるようになると保護者の方も安心できていいのかなと思う。

○統括コーディネーターより

統括コーディネーター

1 1月に市内の剣道スポ少の指導者と協議し、地域クラブ設立の方向性について説明。スポ少の指導者を中心として、地域クラブを立ち上げる方向で準備を進めている。クラブチームの数やエリアの編成など、スポ少が協議をして決定していく。次回は、2月11日の剣道の大会の後に協議をし、地域クラブ移行への話を進めていくことになっている。桃山中学校の野球に関しては、保護者からの異論はない。指導者としては関わっていきたい教員の方もいるので、しっかり体制が整っていけば可能ではないかと思っている。水泳は市内に公共プール、温水プールが無いので、地域クラブ成立は難しいと思っている教員が多いようだ。泳げるようになりたい生徒もいれば、記録更新を目指している生徒など、色々な生徒がいるので、すべての生徒の願いを叶えたいと思っている教員が多いと感じる。市のスイミングスクールについては、連携していきたいスクールもあるようなので、市の方から動いていく必要があると思っている。認定に向けて申請が送られてきているが、認定をするためのプロセスが必要だと思う。競技によって違う問題点があるので、各部活動とのヒアリングが必要かと思う。情報収集、意見交換を行いながら、進められる部活動から随時進めていきたい。文化についても少しずつ進んでいるし、先ほど3つの方法があると言っていたが、それがとてもいいと思う。課題はあるが乗り越えていくことで、いい方向に進んでいくと期待をしている。

○次回の開催について

事務局

次回は3月中旬を予定している。来年度以降については、年2回の開催などとし、運営協議会を中心に協議をしていく。